

刊夕八十月五

常警每日新聞

定額 一部金貳圓 一月金五拾圓 郵費五拾圓
 廣告料 五號十二字 一行金五拾圓
 日曜 祭日の翌日 休刊
 發行所 常警毎日新聞社
 印刷所 常警毎日印刷株式會社

露伴の對どくろ

真繼雲山

(二)

菩薩が佛に成るとは生死去來の相をはなれて自在身を得ることである。たとへ肉身はありとも着するところなき救済行の當體であるならば、それが佛である。火事が恐ろしいといふのは實害を感じるからである。有情もなき月世界の火災(ありとして)を目前に見物し得るなら、活動寫眞の火事よりはたしかに面白いであらう。肉身に即して見れば、さても浮世は冷たいが生死をはなれば森羅万象は真善美の佛の當體となる。凡夫身の一轉處が極樂の境界である。その道程を釋したものに露伴作『對獨體』の一節あり、お妙と申す世にも稀れる美人が山中一夜の述懐話。

しろき人さま。むごかりし昔の胸の氷くだけて東風吹く空気に糸遊のあるかなさかの身も面白く、佛も可愛ゆく、凡夫も可愛ゆく、お前さまもまことに可愛ゆし、天地の一つも憎きものなく樹の間に集くう鳥も可愛ゆく、土に穴する狐も可愛ゆし。心華開發して十方世界かんばしくおもしろき唯識の妙理、味ひ更にこまかく、泥水相分けて清淨に澄めば天上に月宿る嬰路經のおもむきを得ていよ／＼面白し。我れをはなれと人が云ふもおもしろく我れをいやよと云ふもおかし。お前さまを可愛ゆしと思ふたればこそ抱いて寝てといひしに厭がられてはいよ／＼おかし。昔は我れ死ぬほども人に戀はれても辛くありません。

ノット

一人の人の長時間の

の談話は避けたがよい。當日の主人側だつたら尙更のこと。

たり、今は我れ死ぬほど人にいやがられても可愛ゆし、一心變化、同じ天地を恨みもし、樂しきもするこそおかしけれ。文豪の妙筆、批判の限り

十一月の思ひ出

澤美枝



それは大きな不幸とより大きな幸福との前後して起つた月だつた私の愛人はその日永久に別れて行つた

然し私は恨みも憎みも悲しみもなく只静さと佗しさの中に祈を續けて居た

あの時の月も日も空に輝いて居るコバルトの空の下にコスモスのなよなよと咲いて居るのに殆んど變りはないあの時の漠然とした気分は今も朗々たる信仰の心に變つて深き愛の下に私は昔の愛人の多幸を祈つて居る新舊の轉換期 思出の十一月

高久病院

院長 醫學士 高久忠
 副院長 新潟醫學士 赤羽清
 藥局長 藥劑師 佐竹菊雄
 平町田町 電話五二三番
 内科小兒科 外科花柳病科 耳鼻咽喉科 レントゲン科

是非御利用を

營業時間午後九時迄

平町四丁目河岸通り
三井質店
 電話六〇六番

木炭代用この上のない經濟の

徳用な豆炭

壹袋正五貫目入金 八十錢也

御注文次第御届申シマス

三丁目(電話六六三番)

磐崎屋酒店

一丁目(電話五九六番)

菅本武雄商店

白銀町(電話二九九番)

水野氷店

六丁目

矢吹石炭商店

平驛前(電話三七番)

阿部石炭商店

◎特約店募集致シマス

吉田眼科病院

平驛前町、電話六八番

豆を

魚邊食堂
 電話三三三番

五月武者人形

特價大賣出し!

毎度格別ナル御同情ニ預リ難有御禮申上マス例年ノ通り御座敷職及布鯉御道具類等一式豊富ニ取揃陳列致シマシタ御得意本位主義ニテ特價ニ差上マス。御一覺ノ程御待ち致シマス。

平町三丁目日本通り

落花生問屋

叶星號 加藤提灯店

外花柳科専門

木村外科醫院

自炊入院の便あり

平町五丁目橋際 電話三〇九

早くも戦士は定員超過

正式届出二十一名(十八日正午迄)

戦ひは愈々クライマックスに達す

結果は意外の大番狂ぜ?

剩すところ十日に迫つた平町議戦は愈々クライマックスに達し立候補届も別項の如く定員を超過して各候補者並に

運動員は巧みな新戦術によつて清き一票の獲得に全力を擧げてゐる先ず全面的に見た形勢は新顔は相當に苦戦でありそれに反し古顔はそれ相當に確固たる

地盤を有してただけ苦戦とは云つても比較的樂な戦ひを演じてゐる模様だが然し新顔の進出は日を追ふて猛烈を極めてゐるので開票の結果は豫想に反して或は

意外な大番狂はせが演じられるのではないかと見られてゐる尙十八日正午迄の立候補届は左の如くである

- △馬目 雅治(三八)新聞記者 事務長草野金太郎
- △櫻井 清(四八)商 業 同人
- △吉田寅之輔(四六)上繪 業 同人
- △小野伊佐治(七〇)質 屋 梅原利三郎
- △吉田 金作(五一)無 職 鈴木 廣吉
- △關内 正一(三七)商 業 柏原 新吾
- △花澤久一郎(五五)米穀 商 同 星野 甚七
- △馬目武之助(四七)染物 業 同 丹野周一郎
- △會川延太郎(五三)醬油 業 同 永山藤太郎
- △坂本 隆藏(五七)紙 商 同 渡邊 貫一
- △川崎 文治(三九)印 刷 業 同 川角 兼吉
- △新井 滋藏(五一)農 業 同 鈴木 房吉
- △高橋 龜松(五四)石炭 業 同 宮崎善太郎
- △堀 喜一(四五)書 店 同 吉田 弘
- △佐藤幸太郎(三六)米穀 商 同 丹野久五郎
- △小松 正治(五〇)洋服 業 同 石川重太郎
- △多田井笑次郎(二九)質 屋 同 鈴木長三郎
- △井上 茂作(六七)會社 員 同 本人
- △佐藤岩次郎(五九)商 業 同 本人

平第一校の

手工作品研究会

平第一小學校にては来る二十日午後一時より手工室に於て新材料キビガラ及び色テープに依る作品研究會を催すと

- △野崎 滿藏(五三)自動車 業 同 小齊 五郎
- △酒井 清(四一)旅館 業 同 中島 孟
- △猪狩 觀德(四六)鐵道 員 同 本人
- △吉村安治郎(四六)綿 業 同 屋島 廉輔
- △佐々木龍若(五三)商 業 同 有賀幸太郎
- △石山治三郎(五四)建具 商 同 阿部 太平
- △大和田與兵衛(四七)印刷 業 同 本人
- △鈴木 光吉(六一)雜貨 商 同 阿部 治作
- △萩原 義雄(四六)齒科 醫 同 本人
- △小松 茂(三六)酒 商 同 本人
- △齊藤 虎吉(六八)吳服 商 同 大森 勇
- △吉田 五平(五六)無 職 同 本人

榮冠をめぐし

平商競技部猛練習

今年こそ縣下中學校對抗に出場

早くから榮冠をむさし練習をしながら種々の都合に依り毎年出場出来なかつた平商業學校競技部では今年こそ来る八月一日相馬中學校に於て舉行せらるる縣下中等學校大會に出場する事になつたので大いに平商競技部の爲め名を擧げるべく目下必勝を期し矢野校長コーチの下に練習中であるが選手は左の如くである

- (百米)齊藤三男 木澤三郎(二百米)佐々木道典(四百米)片寄織江 山野義人(八百米)澤田定彦

各競技測定

平第二校の試み

平第二小學校にては此の程尋常科児童に對し各種競技の測定を行つたが各學年の平均は左の如くである

- (三十米) 二年七、八、三年七、三、(五十米) 四年一、〇、八、五年九、五、六

八九歳の兒童は

十時間の睡眠

一年毎に短縮される

第一校の興味ある調査

平第一小學校では發育期にある少年時代の睡眠時間は運動や榮養と同時に健康及び發育上に重大な關係のある所から此の程同校衛生部に於て全校児童に對し調査したが其の結果に依ると大體左の如き平均睡眠時間である

- | 年齢 | 時間 |
|-------|-------|
| 八、九 | 一〇、〇八 |
| 九、一〇 | 九、五五 |
| 一〇、一一 | 九、四五 |
| 一一、一二 | 九、四一 |
| 一二、一三 | 九、三一 |
| 一三、一四 | 八、五〇 |

佑賢學舎で

柔剣道部新設

平町城山磐城佑賢學舎にては今年より學友會の事業として柔剣道部を設け毎週二時間宛練習をなして居るが部員は柔道四十八名、劍道二十四名にて教師は劍道松本、岡部の兩氏、柔道は飯村氏である

石城メロンの

聲價を向上

泉村で組合設立
石城郡泉村のメロン栽培は現在耕地四百坪經營者十三名が年額二千貫一萬二千餘圓の産出をなし東京、仙臺より北海道方面迄進出して盛んに贈答用として歡迎されてゐるので最近同村

營者間では園藝組合を設立して極力品質の改良と販路の擴張に努めてゐる

農繁期の

託兒所開設

各方向から申請

石城郡下各農村では愈々農繁期に入つたので各地に託兒所の開設を見るに至つたが小川村では田久徳次郎氏が代表で來月五日より十日間大野村では近藤厚助氏のもとに來月十二日より十二日間各小學校に設置されるが尙植田町でも鈴木佑忠氏が代表として來月十五日より十日間同町小學校外三ヶ所にそれら開設されると

商友會役員會

平商友會にては来る二十日午後一時より母校に於て過般行れた母校二十周年記念事業の決算報告の爲め役員會を開くと

各校職員

平町各小學校職員
より成る平圖書教育研究會にては来る二十一日實技研究として小川郷附近に於て郊外寫生を行ふ事になつたが會員は二十餘名である

共同作業場へ補助

石城郡平窪村果樹組合では過般新設された共同作業場補助金を豫てより縣へ申請中の處今回七年度分補助金として四百七十九圓を寄附され

不良生徒の
家庭を訪問
磐城中學校で
は此の程職員會を開いた結果論がそれ成績及

鯛の初漁

四倉角網で昨日 八百貫を水揚げ

御祝儀相場廿五掛

活気に包まれた四倉濱

四倉町坂本漁業部の角網は十六日から投網を行つたが昨十七日午前と午後の二回に亘り揚網をなした結果午前中が鯛五百貫、午後が同三百貫の初漁があつた水揚げ相場は二十五割で昨年比若干安値であるが初漁だけに飛ぶ様な買れ行きで濱は非常な活気を呈してゐる

學校廿周年記念に 學校園を新設

築山や花園も出来る

平商校の試み

平商業學校にては開校二十周年記念事業として職員室の前に學校園を作る事になり目下駒場教諭係りの下に工事中であるが大きな四間の二間半にて中央には池を掘り金魚を養ふ外築山花園等を設けるとの事であらうと職員初め生徒一同は大喜びである

新校歌

近く發表される

勿來小學校の
石城郡勿來小學校では今回校歌を作製すべく是が歌詞

一 勿來の關に吹く風を
花にいたみし名將の
跡は名高し今にして
名残の香吹絶えず
二 その名所は大御代に
立てる教の園の子等
今日は蕾に咲き香ふ
盛りの色はあすの榮
君と國とに身をつくし
文武秀でし名將の
香りをしたひあゝ勿來
關のほとゝ教ひ子等

公金横領犯人 懲役一年半求刑

本日平支部で

石城郡内郷村字御厩二百番地野菜行商人太田三郎(七)が同村綴郵便局に勤務中昭和六年十一月頃より七年九月頃迄の間同村金坂水野テフ外六百名よりの簡易保料千五百圓を横領し生活の爲に費消した業務上横領事件の公判は本日午後一時より平支部に於て中島裁判長係り關口、竹内兩判事陪席小林檢察立會のもとに開延され検事より懲役一年六ヶ月を求刑されたが言渡しは來る二十五日午前九時である尚綴郵便局では大嶺辯護士を代理人として損害賠償を請求した

果して曲者

郡内を荒した富公

山形縣西村山郡本庄村字宮澤二七生れ住所不定無職長沼富治(三)は昨十七日夜鎌田地内を徘徊中平署員に舉動不審で検束され本署で取調ると同人は去月十九日午後十二時頃石城郡内郷村字白水磐城炭礦合宿所内で渡邊徳次郎所有の衣類二枚時價八圓餘を窃取せる外平内郷等で窃盜七件を行つた旨自白したので餘罪取調中である

歐つて罰金廿圓

平町字八幡小路七十九番地職工山崎朝吉(三)は去る四月二十一日松ヶ岡公園に於て同字古鍛冶町蓬田茂七と

植田電氣が 見舞金を贈る

既報去る十三日石城郡植田町植田電氣會社高壓線の切断されたのを摺んで即死せる同町字岩間阿部彌衛三男正(二)君に對し植田電氣小林支配人は十五日四百圓の弔慰金を贈つた

コソ泥御用 自稱埼玉縣北足立郡大宮町宇大内町生れ住所不定小堤増太郎(三)は去る十五日石城郡飯野村字上荒川二七農佐藤丑藏方の不在中に忍入り白米二斗現金二圓餘を窃取して平署に檢舉されたが取調ると同人は昨年七月窃盜廿二件を荒して富岡署に檢舉されたが本年も宮城、茨城、栃木の各縣に亘つて窃盜三十餘件を荒して居るので目下嚴重取調中である

磐炭衛生展覽會

石城郡内郷村磐城炭礦健康保險組合では去る十六日より十九日迄淺野記念館に於いて衛生展覽會を開催中である

堤の内放火

既報平町堤ノ内十一番地無職大和五平次(七)が大阪日本簡易火災保險會社に家を二千二百圓にて契約し家計困難の爲め右保險金を詐取せんと去る四月十日隣家の竹島精一郎方に放火した事件は過般來平支部に於て荒井豫審判事係りの下に取調べ中の處昨日有罪と決定したので近日平支部に於て中島裁判長係りの下に公判開廷する事になつたと

平町人事

回出生
△鷹匠町四 伊達正志氏次男敏夫
回婚
△東京市淀橋區西久保二丁目三二七 佐々木良雄氏(三五)二丁目三六 坂田貞子(二七)

明日のラジオ
十九日
報豫氣
曇半明日は南西の風天気良くなる

今晚の部
後六、〇〇 郷土研究講座
「東北地方の金礦の話」佐々木喜善
後七、三〇 國際善意デー
(子供の夕)國際善意デー
(團長)長島磯太 馬上政七

即死兒童に
植田電氣が
見舞金を贈る
既報去る十三日石城郡植田町植田電氣會社高壓線の切断されたのを摺んで即死せる同町字岩間阿部彌衛三男正(二)君に對し植田電氣小林支配人は十五日四百圓の弔慰金を贈つた

明日の部
前一、〇三〇 婦人講座
「短歌に現はれたる現代婦人の一面」太田水穂
後〇、〇五 管絃樂「三曲」
コ罗纳オーケストラ
後二、〇〇 家庭大學講座
「價格の形成(物の値段)」

田邊忠男
後四、二〇 大相撲夏場所
實況(七日目)
後六、〇〇 (子供の時間)
お話「太陽」鈴木敬信
後六、三五 趣味講座「自然と俳句」阿部みどり
後七、三〇 舞臺劇「親不知」新歌舞伎座より中繼
河合武雄 喜多村綠郎一
後八、五〇 ラヂオドラマ
「金曜日の朝」高橋潤其他

平映畫界

△平館 日活時代劇澤田清
鈴村京子主演「海棠やくざ」
△松竹現代劇阪東好太郎 飯塚敏子主演「鬼火」
松竹現代劇栗島すみ子主演「聖なる乳房」

△世界館 新興時代劇阪東扇太郎小松峰子主演「水戸中納言」新興現代劇
淺野節 望月禮子主演
「父をたづねて」新興現代劇
劇鈴木勝彦 英百合子
歌川八重子主演「吾が子吾が母」

常磐日新聞

【禁轉載上演及映畫】

悟道軒圓玉演
近藤紫雲畫
上田馬之助

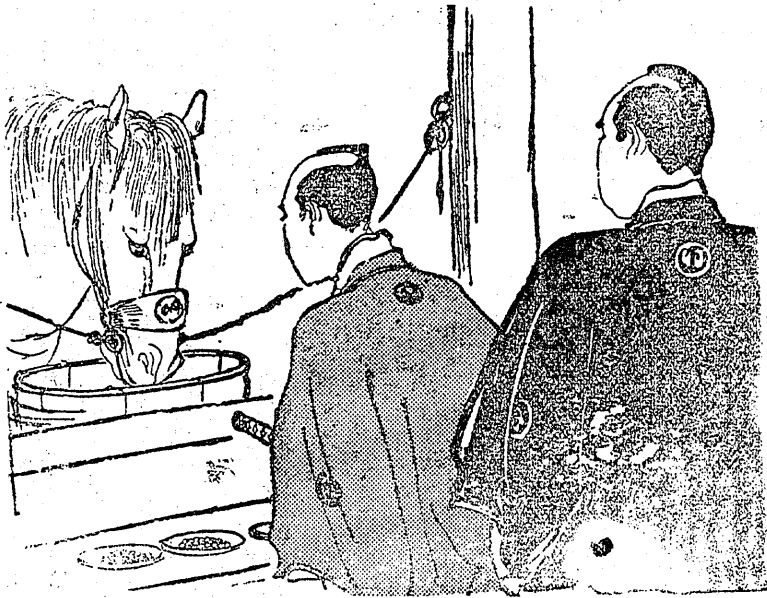
御神馬になりた

緒方新三郎は親元に勘當になり貰つた涙金二百兩は最早一兩二分を餘すばかり是では全盛な遊びも出来な

○『もう叶けねえよ新三郎さんはこの頃めつきり影が淡くなつて来た遊びに行つた處で御祝儀は一文も貰へず旨い物は食べられず酒は飲めず、従つて何となく新三郎さんの居る部屋が陰氣だね、尤も暗い座敷だが一層淋しくなつて幽霊が出るやうだあんな處へ近よればとて有難いことはないまア

とこんな事を云つてゐるそれですから近頃は遊びに来る者もない、幫間どらも打たして陣を退きと云ふ惡口がありますが旨い事を言つたもので、新三郎は溜息許り吐いて世の中を味氣なく思ふ、夫に旨い物にもお目にかかれず此頃は鯉節ばかりで飯を食てゐる恰で

馬『新三郎お在るか』と云へつゝ入つて来たは上田馬之助



久し振りだなお目にかゝるは馬『イヤ日増に道場が繁昌して多忙なるが爲め御無沙汰致した、大分閑静だ何時もこれへ参ると白粉の香がして可愛らしい笑ひ聲が聞えるが今日は珍らしく女子は居らぬな』

新『茲一月ばかり更に女子は見えない高野山の奥の院でな女人禁制でござる』馬『それはお淋しいであらう久し振りで参つた拙者一盞酌むかな』

新『それは有難い御一緒に参るしかし上田先生只今も申す通り金は一兩よりないこれにて事足りるだけの愉快を致すでござらう』馬『入用は拙者が引受け』

大の金が出て居る筈だ』新『ウームそれは文中が預つて居たが半年あまりの中

馬『これは怪しからぬお父上から勘當の涙金として莫大の金が出て居る筈だ』新『ウームそれは文中が預つて居たが半年あまりの中

れた、上田は是れから大盃で酒を飲みましたが大分酔つて来た馬『コレ、女中最早何時だ』女『かれこれ五ツでございませう』馬『モウ然うなるかサ新三郎殿引き揚げるであらう』ヒョロ／＼と立ち上つた

看護婦急派の求めに應じます
平町南町
平看護婦會
電話三〇七番

御用印刷物の總代理
常磐日新聞印刷株式會社
電話三六〇番

市原醫院
平町田町
電話一四四番

高野山四倉支部弘法大師臨時大祭
四倉町牡丹觀覽團體募集
日時 五月廿一日(日曜日)
會費 金一圓二十錢
申込期日五月十八日迄
(午前十一時十八分平驛出發)
(午後三時十七分 平着解散)
大護摩札呈上 折詰お酒二合瓶一本又サイダ
往復汽車賃共
申込所
一丁目 藤内油店 南町 玉音
二丁目 關内油店 新町 初音
三丁目 魚清食堂 同町 三益
四丁目 三井呉服店 城山 木田藤太郎
目 阿部 源 胡麻澤 佐藤寛三

玉屋洋品店
平町田町通電話五六六番

會葬御禮
昭和八年五月十六日
平町字田町一番地
親戚總代
加藤正保
加藤丈夫
眞木正之